

**平成 1 7 事業年度 国立大学法人九州大学決算報告書**

**平成 1 8 年 6 月**

## 平成17年度 決算報告書

国立大学法人 九州大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	52,503	52,503	-	
施設整備費補助金	7,059	6,595	464	(注1)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	23,861	23,861	-	
補助金等収入	-	411	411	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	3,327	3,327	-	
自己収入	35,809	36,962	1,153	
授業料、入学料及び検定料収入	10,853	10,728	125	(注2)
附属病院収入	24,586	25,727	1,141	(注3)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	370	507	137	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,365	9,575	3,210	(注5)
長期借入金	9,856	9,277	579	(注6)
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	462	462	
計	138,780	142,974	4,194	
支出				
業務費	83,366	79,773	3,593	(注7)
教育研究経費	49,464	36,572	12,892	
診療経費	23,661	29,063	5,402	
一般管理費	10,241	14,138	3,897	
施設整備費	20,242	19,199	1,043	(注8)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	-	411	411	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,365	9,720	3,355	(注9)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	28,807	28,746	61	(注10)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	138,780	137,849	931	
収入 - 支出	-	5,125	5,125	

#### 予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、「(元岡)基幹・環境整備」「災害復旧事業」「アスベスト対策事業」の事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が464百万円少額となっております。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として博士課程の学生定員が未充足のため、予算額に比して決算額が125百万円少額となっております。
- (注3) 附属病院収入については、診療報酬の早期回収及び地域医療機関との連携強化による患者数の増加等の増収方策の結果、予算額に比して決算額が1,141百万円多額となっております。
- (注4) 雑収入については、主として消費税の還付及び大型計算機利用負担金の増収等により、予算額に比して決算額が127百万円、さらに特許権取得に努めたことにより特許権及び著作権に係る収入が10百万円、計137百万円多額となっております。なお、特許権及び著作権に係る収入は平成17年度計画予算において「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」に計上しており、当該予算額0百万円に比して決算額10百万円となっており、特許権取得に努めたことにより10百万円多額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、申請件数の増加をはじめとして全学的に外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して3,210百万円決算額が多額となっております。
- (注6) 長期借入金については、事業計画の一部変更等により、予算額に比して決算額が579百万円少額となっております。
- (注7) 業務費については、主として教育研究環境の充実を目指したキャンパス移転事業等を円滑に推進するための必要経費の捻出を目的として、全学的に経費の節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が3,593百万円少額となっております。
- (注8) (注1)及び(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,043百万円少額となっております。
- (注9) (注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,355百万円多額となっております。
- (注10) 長期借入金償還金については、借入計画の変更により、予算額に比して決算額が61百万円少額となっております。